医療行動科学9

年次	学期	学則科目責任者
6年次	前学期	6年次学年教育主任

学修目標 (GIO) と 単位数	<p>・単位数：1</p> <p>・学修目標 (GIO)：歯科医学に関する研究マインドの育成を図るために歯科医学情報の収集と分析ができる。</p> <p>行動目標 (SB0s)</p> <p>1) 過去の歯科医学情報から臨床的問題点の収集ができる。</p> <p>2) 収集した臨床的問題点に分析を加え総括ができる。</p>
担当教員	小見山 道、岩井 啓寿、五関 たけみ、下坂 典立、木本 統、神尾 直人、山本 泰、岡本 京、 洲上 真奈、宇都宮 忠彦、村松 輝晃、飯島 守雄、田中 孝明、村上 洋、高井 英樹、梅澤 幸司、青木 暁宣、濱野 美緒、伊東 浩太郎、6年次学年教育主任、飯田 崇
講義実施要項	<p>1) 実施場所：400教室</p> <p>2) 講義日時：日程表(次頁)を参照</p> <p>3) メディカルプレゼンテーション(4月1日～6月17日)</p> <p>(1) 過去の模試および第110回歯科医師国家試験臨床実地問題の分析 下表に問題を担当する班と担当講座を示す。担当講座に関連する問題の分析を行う。 班□担当講座□班□担当講座</p> <p>A□保存修復学□G□小児歯科学</p> <p>B 歯科矯正学・障害者歯科学□H□歯科臨床検査学・病理学・放射線学</p> <p>C□歯科麻酔学□I□有床義歯補綴学・顎顔面外科学</p> <p>D□有床義歯補綴学□J□クラウンブリッジ補綴学</p> <p>E□歯内療法学□K□口腔インプラント学・顎口腔機能治療学</p> <p>F □口腔外科学・顎顔面外科学□L□歯周治療学</p> <p>(2) 分析結果の総括とプレゼンテーション 総括結果を担当講座の教員とディスカッションし共通理解の基に教員による講義を行う。</p>
評価方法 (EV)	<p>5. 平常試験①～③ MCQ形式の試験とする。 講義内容に沿う国家試験問題を基軸とする改変問題24問(配点は1問2点)</p> <p>5. 総合試験 MCQ形式の試験とする。 講義内容に沿う国家試験問題を基軸とする改変問題36問(配点は1問2点)</p> <p>6. 評価 平常試験および総合試験の正答率が60%以上の者を医療行動科学9の合格者とする。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/01(土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(保存修復学①)	<p>【授業の一般目標】 保存修復学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：国家試験過去問 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p>	岩井 啓寿
2017/04/01(土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯科矯正学①)	<p>【授業の一般目標】 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方</p>	五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/01 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (歯科矯正学①)	<p>針を立案できる。 3.与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：治療計画の立案に必要なデータの分析について</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無</p> <p>学修媒体：配布プリント、PCによるスライド 参考資料：歯科矯正学第5版 医歯薬出版 新版 プロフィットの現代歯科矯正学 クイテッセンス出版</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 X 治療 1 治療計画 ア 治療計画の立案</p>	五関 たけみ
2017/04/01 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (歯科麻酔学①)	<p>【授業の一般目標】 歯科麻酔学領域、特に有病者の全身管理における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医師国家試験過去問題</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ホ 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象 (気管支炎、気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患 <COPD>、心筋梗塞、狭心症、高血圧症、心不全、心内膜炎、脳出血、脳梗塞、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変、胃食道逆流症 <GERD>、腎炎、慢性・急性腎不全、貧血、急性白血病、出血性素因、血友病、von Willebrand 病、糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副腎機能亢進症、副腎機能低下症、膠原病、後天性免疫不全症候群 <AIDS>、認知症、統合失調症、うつ病、双極性障害、てんかん、Alzheimer 病、Parkinson 病、アルコール・薬物依存症、悪性腫瘍、周術期、妊婦、小児、高齢者、免疫不全、臓器移植患者、菌交代現象<菌交代症>)</p>	下坂 典立
2017/04/01 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (全部床義歯学①)	<p>【授業の一般目標】 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 2.全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 3.全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：110回歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域と平成28年度に行われた模試の問題 (臨床実地問題全部床義歯領域) を解く。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/01 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(全部床義歯学①)	<p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 サ 装着</p>	木本 統
2017/04/08 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学①)	<p>【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 105-109回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し PC/講義資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p>	神尾 直人
2017/04/08 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学①)	<p>【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：第110回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成28年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科学領域)を解く。 準備学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 講義、PCスライド、プリント 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践2018」、第110回歯科医師国家試験臨床実地問題</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ア 歯原性腫瘍</p>	山本 泰
2017/04/08 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学①)	<p>【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p>	岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/08 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (小児歯科学①)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、PCスライド 参考図書：学研書院『小児の口腔科学』第3版</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p>	岡本 京
2017/04/08 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (臨床検査医学・病理学・放射線学) ①	<p>【授業の一般目標】 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 2. 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 3. 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 4. 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 5. 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 6. 与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 7. 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 8. 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 9. 与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。 準備学修時間40分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 講義・パワーポイント・プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 3 検体検査 イ 一般臨床検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査 コ パノラマエックス線検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 シ CT 3 検体検査 ア 検体の採取・保存 イ 一般臨床検査 ウ 血液学検査 キ 病理組織学検査、細胞診</p>	瀧上 真奈 宇都宮 忠彦
2017/04/15 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション (局部床義歯学①)	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。 2. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 3. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーソナルデンチャー第16章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/15 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(局部床義歯学①)	400教室、PC 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案	飯島 守雄
2017/04/15 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(クラウンブリッジ補綴学①)	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 2.与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：110回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成28年度に行われた模試の問題(臨床実地問題クラウンブリッジ領域)を解く。 準備学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択	田中 孝明
2017/04/15 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(口腔インプラント学①)	【授業の一般目標】 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え総括ができる。 【行動目標(SBOs)】 1.口腔インプラント治療に関する臨床上的問題点を抽出できる。 2.口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯科医師国家試験臨床実地問題口腔インプラント領域を解く。 準備学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 イ 補綴装置の設計	村上 洋
2017/04/15 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(歯周治療学①)	【授業の一般目標】 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 2.与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：110回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域と平成28	高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/15 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (歯周治療学①)	<p>年度に行われた模試の問題 (臨床実地問題歯周治療学領域) を解く。 準備学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: あり (問題の演習と学生による解説) 学習媒体: 授業プリント, PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p>	高井 英樹
2017/04/17 (月) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学9 平常試験①	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間: 十分な準備学修時間をとること</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	6年次学年教育主任
2017/04/22 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション (保存修復学②)	<p>【授業の一般目標】 保存修復学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 国家試験過去問 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p>	岩井 啓寿
2017/04/22 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (歯科矯正学②)	<p>【授業の一般目標】 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: ①治療計画の立案に必要なデータの分析について ②担当問題の分析 ・準備学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 担当問題について分析し、プレゼンテーションのための資料を作成する。</p> <p>学修媒体: 配布プリント、PCによるスライド 参考資料: 歯科矯正学第5版 医歯薬出版 新版 プロフィットの現代歯科矯正学 クイテッセンス出版</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/22 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (歯科矯正学②)	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 エ 治療計画</p>	五関 たけみ
2017/04/22 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (歯科麻酔学②)	<p>【授業の一般目標】 歯科麻酔学領域、特に有病者の全身管理における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2. 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 3. 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医師国家試験過去問題 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ホ 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象 (気管支炎、気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患 <COPD>、心筋梗塞、狭心症、高血圧症、心不全、心内膜炎、脳出血、脳梗塞、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変、胃食道逆流症 <GERD>、腎炎、慢性・急性腎不全、貧血、急性白血病、出血性素因、血友病、von Willebrand 病、糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副腎機能亢進症、副腎機能低下症、膠原病、後天性免疫不全症候群 <AIDS>、認知症、統合失調症、うつ病、双極性障害、てんかん、Alzheimer 病、Parkinson 病、アルコール・薬物依存症、悪性腫瘍、周術期、妊婦、小児、高齢者、免疫不全、臓器移植患者、菌交代現象<菌交代症></p>	下坂 典立
2017/04/22 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (全部床義歯学②)	<p>【授業の一般目標】 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 2. 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 3. 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：110回歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域と平成28年度に行われた模試の問題 (臨床実地問題全部床義歯領域) を解く。 準備学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 10 管理 ア リコール</p>	木本 統
2017/05/02 (火) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション (歯内療法学②)	<p>【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 105-109回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題</p>	神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/02 (火) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学②)	1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 学習媒体 PC/講義資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法	神尾 直人
2017/05/02 (火) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学②)	【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：第110回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成28年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科学領域)を解く。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 講義、PCスライド、プリント 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践2018」、第110回歯科医師国家試験臨床実地問題 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 キ 上顎・下顎歯肉癌	山本 泰
2017/05/02 (火) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学②)	【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、PCスライド 参考図書：学研書院『小児の口腔科学』第3版 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 乳歯の歯髄疾患	岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/02 (火) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学②)	<p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 4 小児の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 乳歯の根尖性歯周組織疾患 ウ 幼若永久歯の歯髄疾患 エ 幼若永久歯の根尖性歯周組織疾患</p>	岡本 京
2017/05/02 (火) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(臨床検査医学・病理学・放射線学)②	<p>【授業の一般目標】 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 2.与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 4.与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 5.与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 6.与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 7.与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 8.与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 9.与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。 準備学修時間40分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 講義・パワーポイント・プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 3 検体検査 イ 一般臨床検査</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査 コ パノラマエックス線検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 シ CT 3 検体検査 ア 検体の採取・保存 イ 一般臨床検査 ウ 血液学検査 キ 病理組織学検査、細胞診</p>	淵上 真奈 宇都宮 忠彦 伊東 浩太郎
2017/05/06 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(局部床義歯学②)	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。 2.部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 3.部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 第110回歯科医師国家試験</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、PC</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案</p>	飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/06 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション (局 部床義歯学②)	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断</p>	飯島 守雄
2017/05/06 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (ク ラウンブリッジ補 綴学②)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1.与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学習項目：110回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成28年度に行われた模試の問題 (臨床実地問題クラウンブリッジ領域) を解く。 準備学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 カ 前処置</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択 イ ブリッジの設計 ウ 支台歯形成 オ プロビジョナルレストレーション カ 印象採得</p>	田中 孝明
2017/05/06 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (顎 口腔機能治療学①)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顎口腔機能治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1.与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>顎口腔機能治療学領域における</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第110回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 9 特殊な装置による治療 イ オクルーザルスプリントによる治療</p>	飯田 崇
2017/05/06 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (歯 周治療学②)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1.与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 2.与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。</p>	高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/06 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(歯周治療学②)	3.与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：109回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域と平成28年度に行われた模試の問題(臨床実地問題歯周治療学領域)を解く。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり(問題の演習と学生による解説) 学修媒体：授業プリント、PCでの解説 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療	高井 英樹
2017/05/08 (月) 1時限 08:40～09:30	医療行動科学9 平常試験②	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室	6年次学年教育主任
2017/05/20 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(保存修復学③)	【授業の一般目標】 保存修復学領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：国家試験過去問 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法	岩井 啓寿
2017/05/20 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(障害者歯科学①)	【授業の一般目標】 障害者歯科学領域における研究マインド育成を図るために歯科医学情報の収集と分析を行う。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた障害者歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.障害者歯科学領域における臨床症例の問題点について、適切な治療方針を立案できる。 3.与えられた障害者歯科学領域における臨床症例の分析結果を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：1) 行動調整 2) 歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群 3) 摂食嚥下障害 4) 精神および行動の障害 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無、第110回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業 学修媒体：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科(日本障害者歯科学会編集)、医歯薬出版(株)、2017。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室	梅澤 幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/20 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(障害者歯科学①)	<p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論X 治療 2 治療の基礎 コ 障害者の治療</p>	梅澤 幸司
2017/05/20 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(歯科麻酔学③)	<p>【授業の一般目標】 歯科麻酔学領域、特に有病者の全身管理における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 歯科医師国家試験過去問題 ・準備学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ホ 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象 (気管支炎、気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患 <COPD>、心筋梗塞、狭心症、高血圧症、心不全、心内膜炎、脳出血、脳梗塞、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変、胃食道逆流症 <GERD>、腎炎、慢性・急性腎不全、貧血、急性白血病、出血性素因、血友病、von Willebrand 病、糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副腎機能亢進症、副腎機能低下症、膠原病、後天性免疫不全症候群 <AIDS>、認知症、統合失調症、うつ病、双極性障害、てんかん、Alzheimer 病、Parkinson 病、アルコール・薬物依存症、悪性腫瘍、周術期、妊婦、小児、高齢者、免疫不全、臓器移植患者、菌交代現象<菌交代症></p>	下坂 典立
2017/05/20 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(全部床義歯学③)	<p>【授業の一般目標】 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 2.全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 3.全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目: 110回歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域と平成28年度に行われた模試の問題(臨床実地問題全部床義歯領域)を解く。 準備学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: なし 学習媒体: 授業プリント, PCでの解説</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 10 管理 ウ 残存組織の変化とその対応</p>	木本 統
2017/06/03 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学③)	<p>【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 105-109回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題</p>	神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/03 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学③)	1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 学修媒体 PC/講義資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患	神尾 直人
2017/06/03 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(顎顔面外科学①)	【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：第110回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成28年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科領域)を解く。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践2018」、第110回歯科医師国家試験臨床実地問題 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ス 抜歯 a 基本的術式	青木 暁宣
2017/06/03 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学③)	【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、PCスライド 参考図書：学研書院『小児の口腔科学』第3版 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態	岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/03 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学③)	6 歯列・咬合異常の予防 ウ 保隙 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 ア 歯列・咬合異常の要因 イ 咬合誘導の考え方	岡本 京
2017/06/03 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(臨床検査医学・病理学・放射線学)③	【授業の一般目標】 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 2.与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションでできる。 4.与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 5.与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 6.与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションでできる。 7.与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 8.与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 9.与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションでできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。 準備学修時間40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 講義・パワーポイント・プリント 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 3 検体検査 イ 一般臨床検査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査 コ パノラマエックス線検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 シ CT 3 検体検査 ア 検体の採取・保存 イ 一般臨床検査 ウ 血液学検査 キ 病理組織学検査、細胞診	瀧上 真奈 宇都宮 忠彦 伊東 浩太郎
2017/06/17 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(顎顔面外科学②)	【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションでできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：第110回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成28年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科領域)を解く。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践2018」、第110回歯科医師国家試験臨床実地問題	青木 暁宣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/17 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(顎顔面外科学②)	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ス 抜歯 a 基本的術式</p>	青木 暁宣
2017/06/17 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(クラウンブリッジ補綴学③)	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 2. 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 3. 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：110回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成28年度に行われた模試の問題(臨床実地問題クラウンブリッジ領域)を解く。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適 ソ 患者指導 10 管理 ア リコール イ ホームケア、プロフェッショナルケア</p>	田中 孝明
2017/06/17 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(口腔インプラント学②)	<p>【授業の一般目標】 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え総括ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔インプラント治療に関する臨床上の問題点を抽出できる。 2. 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題、口腔インプラント領域を解く。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 ケ 補綴装置の製作</p>	村上 洋
2017/06/17 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(歯周治療学③)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/17 (土) 4時限 11:40~12:30	メディカルプレゼンテーション(歯周治療学③)	<p>1.与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。</p> <p>2.与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。</p> <p>3.与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：108回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域と平成28年度に行われた模試の問題（臨床実地問題歯周治療学領域）を解く。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり（問題の演習と学生による解説） 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p>	高井 英樹
2017/06/19 (月) 1時限 08:40~09:30	医療行動科学9 平常試験③	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等</p> <p>・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	6年次学年教育主任
2017/06/30 (金) 1時限 08:40~09:30	医療行動科学9 総合試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等</p> <p>・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	6年次学年教育主任